



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日  
東

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 2812 URL <http://www.y SKF.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統括本部 (氏名) 内山 毅彦 (TEL) 054-202-6044  
 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,872	△0.6	176	△37.3	208	△33.1	136	△25.0
27年3月期第1四半期	4,904	△0.1	281	△15.9	311	△21.6	182	△25.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 235百万円( 57.5%) 27年3月期第1四半期 149百万円(△66.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	11.02	—
27年3月期第1四半期	14.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	23,825	19,258	80.8
27年3月期	24,955	19,196	76.9

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 19,257百万円 27年3月期 19,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	10.00	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,660	△0.3	450	△17.7	470	△21.1	260	△28.4	20.47
通期	18,430	△4.9	1,000	5.8	1,040	△1.6	630	△7.4	49.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	13,056,198株	27年3月期	13,056,198株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	656,171株	27年3月期	656,171株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	12,400,027株	27年3月期1Q	12,893,898株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)のわが国経済を取り巻く環境は、円安による輸出採算の好転や株高などによる雇用・所得環境の改善傾向がみられ、全般的には穏やかな景気回復基調となっておりますが、半面、輸入原材料価格の上昇を背景とした物価上昇や節約志向の持続により、実態経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

食品業界におきましても、原材料価格、電気料金の上昇などによる物価高、少子高齢化の進行等、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、中期経営計画「Change&Challenge」の最終年度にあたり、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、YSK再興戦略として、i. 事業構造改革の実施、ii. 収益重視の営業推進、iii. 新規事業領域(「BtoC」市場)の進展、iv. Only One、差別化商品開発・上市の継続、v. 海外第2拠点の確立、vi. 攻めのガバナンスとROEの向上を掲げ、収益性向上のため、既存事業を強化すると共に、前事業年度中に立ち上げた通信販売事業における化粧品「NAG+」シリーズの販売推進や、農業分野への進出など新規事業領域の拡大に注力してきました。また、製造面では、BCP対策の一環として昨年8月28日に竣工した掛川工場の安定稼働など、生産性及び品質の向上に向けた取り組みも着実に進んでおります。

連結売上高につきましては、調味料が液体、粉体共に増収となったものの、機能食品における機能性素材、医療栄養食及び機能食品がいずれも減少、水産物もOEMの受託加工が低調に推移したことなどから、48億72百万円(前年同期比31百万円、0.6%減)となりました。利益面につきましては、原材料、動力費等の上昇により連結営業利益は1億76百万円(同1億4百万円、37.3%減)となりました。連結経常利益は前期の為替差損が差益に転じたものの、受取配当金の減少などから2億8百万円(同1億3百万円、33.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億36百万円(同45百万円、25.0%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

#### (調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。売上高は、液体の前期比55百万円増と粉体の前期比49百万円増、香辛料の前期比13百万円の減収により、21億86百万円(前年同期比90百万円、4.3%増)でした。セグメント利益(営業利益)は、前期にスタートした掛川工場の減価償却費の負担に加え、原材料高と動力費の値上がりが続く引き続き原価増の要因となったことなどから、1億92百万円(同1億4百万円、35.2%減)となりました。

#### (機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、機能性食品素材の苦戦が続き、医療栄養食のOEM生産も減少した他、UMIウェルネス粥の通販商品を主体とした機能食品も低調に推移したことなどにより、売上高は13億54百万円(同95百万円、6.6%減)、セグメント利益(営業利益)は、売上減と原材料・動力費の値上げに起因する変動費増加により、1億26百万円(同8百万円、6.0%減)となりました。

#### (水産物)

水産物は、主に冷凍鮪・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。韓国輸出が復調傾向にあるものの、鮪のOEM受託加工が低調に推移し、売上高は10億26百万円(同23百万円、2.2%減)となりました。セグメント利益(営業利益)は、売上減と一部製品の薄利販売の影響で1百万円(同13百万円、88.3%減)となりました。

#### (その他)

その他は、その他商品の販売ですが、売上高は3億5百万円(同3百万円、1.1%減)、セグメント利益(営業利益)は17百万円(同0百万円、3.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ11億30百万円減少し、238億25百万円となりました。

流動資産は、原材料及び貯蔵品が1億77百万円、受取手形及び売掛金が1億70百万円増加した一方、現金及び預金が12億11百万円、その他流動資産が2億1百万円減少したことなどにより11億15百万円減少し、116億48百万円となりました。

固定資産は、株価の上昇による投資有価証券の評価が1億42百万円増加した一方、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が1億94百万円減少したことなどにより、15百万円減少し、121億77百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が10億円、未払法人税等が2億49百万円減少したことなどにより12億33百万円減少し、28億30百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が45百万円増加したことなどにより40百万円増加し、17億36百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が95百万円増加したことなどにより62百万円増加し、192億58百万円となりました。

この結果、自己資本比率は80.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月8日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準

」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

なお、当該表示の変更以外については影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,882,275	3,670,669
受取手形及び売掛金	4,266,043	4,436,734
商品及び製品	1,350,511	1,342,961
仕掛品	143,227	96,930
原材料及び貯蔵品	1,781,525	1,959,361
繰延税金資産	79,957	79,991
その他	267,180	65,181
貸倒引当金	△7,153	△3,645
流動資産合計	12,763,568	11,648,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,214,566	3,147,297
機械装置及び運搬具（純額）	2,376,593	2,249,414
土地	3,000,335	3,000,335
リース資産（純額）	33,880	29,345
建設仮勘定	—	4,464
その他（純額）	55,208	55,218
有形固定資産合計	8,680,584	8,486,075
無形固定資産	72,054	61,930
投資その他の資産		
投資有価証券	3,216,012	3,358,337
退職給付に係る資産	53,532	101,905
繰延税金資産	3,752	3,973
その他	173,936	171,914
貸倒引当金	△7,571	△7,121
投資その他の資産合計	3,439,662	3,629,009
固定資産合計	12,192,302	12,177,016
資産合計	24,955,871	23,825,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,908,056	1,731,909
短期借入金	1,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
リース債務	19,201	16,232
未払法人税等	323,583	73,626
未払消費税等	23,144	67,756
賞与引当金	115,231	194,957
役員賞与引当金	—	4,500
その他	474,770	541,754
流動負債合計	4,063,988	2,830,736
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,100,000
リース債務	17,350	15,078
繰延税金負債	553,142	598,642
退職給付に係る負債	11,742	12,303
長期未払金	13,434	10,010
固定負債合計	1,695,670	1,736,034
負債合計	5,759,658	4,566,771
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,489,360	11,452,449
自己株式	△623,001	△623,001
株主資本合計	17,898,135	17,861,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,153,426	1,249,394
為替換算調整勘定	143,798	147,065
その他の包括利益累計額合計	1,297,224	1,396,459
新株予約権	853	745
純資産合計	19,196,212	19,258,429
負債純資産合計	24,955,871	23,825,200

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,904,205	4,872,480
売上原価	3,834,366	3,905,824
売上総利益	1,069,839	966,655
販売費及び一般管理費	788,138	789,937
営業利益	281,701	176,718
営業外収益		
受取利息	2,498	330
受取配当金	31,710	25,541
受取賃貸料	658	756
為替差益	—	270
貸倒引当金戻入額	—	3,987
その他	11,354	8,062
営業外収益合計	46,222	38,948
営業外費用		
支払利息	325	120
為替差損	6,211	—
たな卸資産廃棄損	2,885	6,768
その他	6,724	337
営業外費用合計	16,147	7,226
経常利益	311,775	208,440
特別損失		
固定資産除却損	120	0
損害補償損失引当金繰入額	21,000	—
会員権売却損	390	—
特別損失合計	21,511	0
税金等調整前四半期純利益	290,263	208,440
法人税等	107,941	71,750
四半期純利益	182,322	136,689
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,322	136,689



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	182,322	136,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,343	95,968
為替換算調整勘定	△24,158	3,267
その他の包括利益合計	△32,501	99,235
四半期包括利益	149,820	235,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,820	235,924
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,095,836	1,450,087	1,049,823	4,595,747	308,458	4,904,205	—	4,904,205
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	4,150	4,150	—	4,150	(4,150)	—
計	2,095,836	1,450,087	1,053,974	4,599,898	308,458	4,908,356	(4,150)	4,904,205
セグメント利益	296,629	135,070	15,580	447,280	17,703	464,983	(183,282)	281,701

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。  
 2. セグメント利益の調整額183,282千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,186,611	1,354,139	1,026,712	4,567,463	305,017	4,872,480	—	4,872,480
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	2,214	2,214	—	2,214	(2,214)	—
計	2,186,611	1,354,139	1,028,927	4,569,677	305,017	4,874,695	(2,214)	4,872,480
セグメント利益	192,359	126,960	1,816	321,137	17,156	338,293	(161,575)	176,718

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。  
 2. セグメント利益の調整額161,575千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。